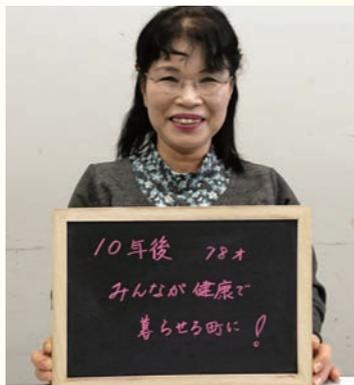


VOICE リレー

～あなたが描く10年後のせき～

森さんのVOICE

照会先 企画政策課 (☎ 23-7014)



森 英子さん

一人ひとりが健康に心がけ、さまざまな分野でいきいきと活動できる。
生涯にわたって誰もが元気に現役で活躍できるまちがいい!

VOICE リサーチ

～総合計画策定にかかる市民アンケート調査より～

市内在住の18歳以上の方3,000人に、関市のまちづくりの現状と今後の方策について、アンケート調査を実施しました。(回収結果: 1,400票、回収率: 46.7%)

Q. 関市について自慢できるもの (上位5位)

- 1位 きれいな川や山などの豊かな自然環境 23.5%
- 2位 刀鍛冶などの伝統文化 19.4%
- 3位 おいしい水 12.7%
- 4位 ものづくりの技術や産業 8.9%
- 5位 うなぎや鮎などのご当地食 7.4%

Q. 関市が将来目指すべきまちの姿 (上位5位)

- 1位 災害に強く、交通事故や犯罪の少ない、安全・安心なまち 16.9%
- 2位 高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち 16.1%
- 3位 子どもを産み・育てやすい、子育てのサポートが充実したまち 12.1%
- 4位 商工業、サービス業などが活発で働く場に恵まれた産業のまち 10.1%
- 5位 道路や公共交通、上下水道などの生活基盤が整った、利便性の高いまち 9.9%

Q. 地域で発生している問題 (上位5位)

- 1位 高齢者世帯の増加 21.9%
- 2位 公共交通の利便性の低下 15.2%
- 3位 子どもの減少 11.5%
- 4位 商店・スーパーなどの閉鎖 7.7%
- 5位 未婚者の増加 7.0%

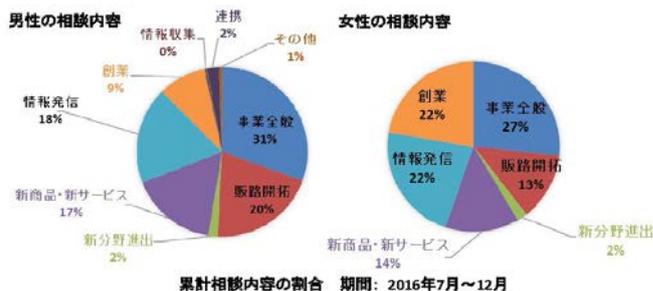
Q. 関市が今後力を入れるべき施策 (上位5位)

- 1位 若い世代に対する子育て支援の充実 14.3%
- 2位 安心して暮らし続けるための防犯・防災対策の充実 13.3%
- 3位 保健・医療・健康づくりの充実 11.2%
- 4位 仕事と家庭の両立の支援などによる女性が働き続けられる環境の整備 8.9%
- 5位 多様な人や世代が共に暮らせるための福祉の充実 8.3%



セキBiz だより Vol. 02

Seki-Biz



こんにちは。関市ビジネスサポートセンターセンター長の杉山です。

Seki-Bizのご相談者の中で女性の割合が徐々に増えてきました。開設当初の7月に13%だった女性相談者の割合は、昨年12月には31%まで上昇。業種はサービス業が26%と多く、次いで飲食・宿泊、福祉・医療がそれぞれ20%程度となっています。また、創業のご相談に来られた方は22%で、男性の創業希望者の9%に比べて13%も多い結果になっています。

帝国データバンク発表の2015年10月の資料によると、都道府県別の女性社長比率はトップが青森県で(10.2%)、最低は岐阜県の(5.0%)でした。Seki-Bizで相談を受けているとそんな感じは全く受けなかったもので、意外な結果でした。

関市とその周辺には多くの女性創業希望者がいます。Seki-Bizから多くの女性起業家を生み出し、最下位脱出を目指したいと思います。女性に限らず「創業したい!」と考えている方はぜひSeki-Bizをご利用ください。具体的な計画がなくても大丈夫です。まずは意見交換から始めましょう。

Seki-Bizは堅実に頑張る中小企業の「より良くなりたい」を支援し、起業家の「夢を実現したい」を応援する産業支援拠点です。事業状況の確認から課題解決の提案・実行までを無料で継続的に行い、あなたのチャレンジをサポートします!ぜひ、お気軽にお越しください!

営業日 火曜～土曜(日・月・祝日休み) 相談時間 午前10時～午後5時(正午～午後1時除く)

予約電話 0575-23-3955 予約FAX 0575-23-3956 予約mail info@seki-biz.net

第31回

中濃駅伝大会

交通規制にご協力を

■規制日 2月5日(日)

■規制内容 ①⑤ 全面車両通行止め ⑥ 片側交互通行

■規制時間

午前10時～11時30分

■規制区間

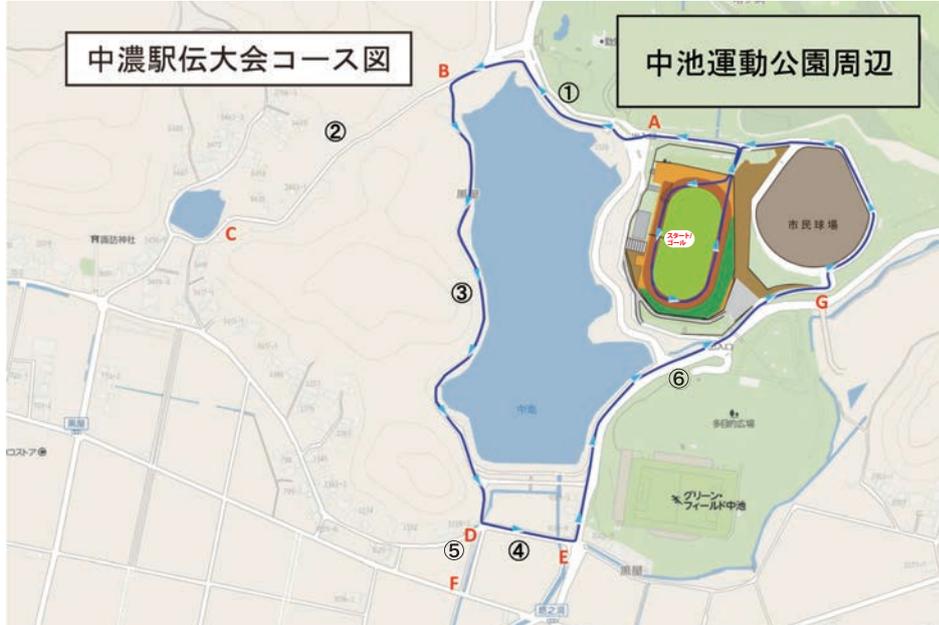
- ▽① A地点～B地点まで
 - ▽② B地点～C地点まで
 - ▽③ B地点～D地点まで
 - ▽④ D地点～E地点まで
 - ▽⑤ D地点～F地点まで
 - ▽⑥ E地点～G地点まで
- ※下の図をご覧ください

■照会先

スポーツ推進課

☎ 23-7766

FAX 23-7765



プールで楽しく歩こう! 水中ウォーキング教室

「運動不足解消」、「体調改善」、「腰痛予防、膝痛予防」

水中での歩行を様々なバリエーションで行なっていく教室です。
運動不足解消、シェイプアップ、腰痛予防、膝痛予防などの効果が期待できる内容です。

- 日 程 2月10日(金)・2月17日(金)・2月24日(金)
- 時 間 午後2時～2時45分
- 参加費 2,160円(税込:全3回) ※別途、プール利用料が必要です。
(1回当りの利用料:一般400円、65歳以上100円)
◎65歳以上の方は年齢が分かるものをご用意ください。
- 対 象 運動のできる健常な成人
- 申込方法 2月9日(木)までに総合体育館地下1階温水プール窓口で申し込み。
※参加費をご持参ください。 ※電話で予約も可能です。
※定員になり次第、締め切ります。
- 定 員 20人
- 担当講師 (株)コパン 専属コーチ



照会先 関市総合体育館 温水プール ☎ 23-7762

市有地・土地開発公社所有地の公売

※一般競争入札により公売します。

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>物件1番</p> <p>▷所在地番＝肥田瀬字立岩 1270-5
▷地目・地積＝宅地・195.83㎡
▷入札最低価格＝3,861,000円</p> | <p>物件6番</p> <p>▷所在地番＝富之保字岩山崎 3013-11
▷地目・地積＝宅地・201.39㎡
▷入札最低価格＝1,325,000円</p> |
| <p>物件2番</p> <p>▷所在地番＝肥田瀬字立岩 1270-27
▷地目・地積＝宅地・195.83㎡
▷入札最低価格＝3,861,000円</p> | <p>物件7番
建物付
木造2階建
床面積164.72㎡</p> <p>▷所在地番＝板取字大道下夕 1591-6
▷地目・地積＝宅地・858.64㎡
▷入札最低価格＝3,640,000円</p> |
| <p>物件3番</p> <p>▷所在地番＝桜本町2丁目1-4
▷地目・地積＝宅地・178.52㎡
▷入札最低価格＝5,531,000円</p> | <p>物件8番
関市土地開発公社所有地</p> <p>▷所在地番＝小瀬字一ノ門 1132-1
▷地目・地積＝宅地・728.00㎡
▷入札最低価格＝29,197,000円</p> |
| <p>物件4番</p> <p>▷所在地番＝下有知字富士二 4692、4693、4694 (3筆)
▷地目・地積＝雑種地・3筆計4,149.75㎡
▷入札最低価格＝64,701,000円</p> | <p>物件9番
関市土地開発公社所有地</p> <p>▷所在地番＝南町1丁目2-1
▷地目・地積＝宅地・94.64㎡
▷入札最低価格＝2,881,000円</p> |
| <p>物件5番</p> <p>▷所在地番＝洞戸高見字下村 1815
▷地目・地積＝雑種地・462.50㎡
▷入札最低価格＝612,000円</p> | <p>物件10番
関市土地開発公社所有地</p> <p>▷所在地番＝倉知字築坪 2603-3
▷地目・地積＝山林・1,929.24㎡
▷入札最低価格＝38,470,000円</p> |

- ◆**申込期間** 2月8日(水)～2月22日(水) 午前9時～午後5時まで(閉庁日は除く。)
- ◆**入札日** 3月1日(水)
※入札参加申込書・資料などは総務管財課でお渡します。
※入札最低価格以上で、かつ、最高額で入札された方を落札者とし、同額の場合は抽選とします。
※落札者とは14日以内に売買契約を結び、購入代金を契約日から20日以内に一括納入していただきます。
※購入代金のほか、移転登記費用・印紙税が必要です。
- ◆**照会先** 総務管財課 ☎ 23-7763

環境講演会

『気候変動の時代に生きる』



未来のために、いま選ぼう。

ここ100年で日本の平均気温は約1℃上がり、温暖化の大きな原因は二酸化炭素の排出です。政府は2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、地球温暖化対策のためのあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」を展開し、関市もさらなる地球温暖化の防止に向け、平成28年10月に「COOL CHOICE」の推進を宣言しました。

今回、「COOL CHOICE」の推進の一環として、地球温暖化に関する現状と、私たちにもできる温暖化防止活動についての講演会を開催します。

●**日時** 2月26日(日)午後1時30分～3時30分(午後1時開場)

入場無料

●**場所** わかくさ・プラザ「学習情報館・多目的ホール」

●**内容** ・講演(80分)

演題:「気候変動の時代に生きる」

講師: 杉山 範子 さん(名古屋大学大学院環境学研究科附属 持続的共発展教育研究センター 特任准教授)

・講演(30分)

演題:「身近にできる地球温暖化防止活動」

講師: 矢野 ちぐさ さん(グリーンエコどうど代表、岐阜県地球温暖化防止活動推進員)

・展示 環境ネットせきの活動紹介

●**主催** 関市 ●**後援** 関市自治会連合会 ●**協力** 環境ネットせき



杉山 範子さん

◆**照会先** 生活環境課 ☎ 23-7702

市議会だより

市議会第4回定例会

平成28年市議会第4回定例会を、12月1日から22日までの22日間、開催しました。

この定例会では、条例関係7件、一般議案9件、補正予算13件、諮問2件、選挙1件の、合わせて32件を審議しました。審議日程は次のとおりでした。

- ▼12月1日の本会議1日目は、会期を22日間と決めた後、議案の説明が行われ、関市教育委員会の委員の任命について同意し、人権擁護委員の推薦について可としました。また、関市選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙を行いました。
- ▼12日の本会議2日目は、議案に対する質疑を行い、関市職員の給与に関する条例の一部改正についてなど15件を可決・承認しました。

使用料の適正化に伴う関係条例の整備

等に関する条例の制定について、平成28年度関市一般会計補正予算（第5号）など14件をそれぞれ所管の各常任委員会に付託しました。

その後、代表質問と一般質問を行い、通告者12人のうち4人が、当局の姿勢や方針について質問を行いました。

▼13日の本会議3日目は、5人が一般質問を行いました。

▼14日の本会議4日目は、3人が一般質問を行いました。

▼15日～19日は各常任委員会で付託案件の審査を行いました。

▼22日の本会議5日目は、各常任委員長から付託案件の委員会審査結果の報告が行われ、討論、採決の結果、付託されたすべての議案が可決されました。

今定例会に付議された案件をすべて議了し閉会しました。

代表質問・一般質問

高齢運転者の交通安全

質問 事故防止の取組みは

答弁 高齢者が運転する車による交通事故は全国で発生しています。関市の

ように過疎地域も包括する地方都市では自動車の必要性が高く、その事故防止を図るためにも、現在実施されている高齢者講習や講習予備検査は大変有効であると考えます。市でも、高齢者に対する交通安全教室やシルバー・ドライビングスクールの実施、反射材着用の推進などで引き続き高齢者の交通事故防止に努めていきます。

また、運転免許証の自主返納者に対しては、長良川鉄道や岐阜バスで運賃の優遇制度があります。市では、自主返納者を含めた高齢者に対する支援策について、関係課及び公共交通活性化協議会で検討していくことにしています。また、高齢者に対してバスの乗り方教室を開催し、利用促進を図りたいと考えています。

教職員の相談窓口

質問 若い教職員が気軽に相談できる制度ができないか

答弁 教職員の精神衛生を含めた健康問題は大きな課題となっています。多くの学校では、職場の管理職や先輩が相談相手となっており、また市の学校教育課などにも相談窓口を開設し、担当者を配置しています。また、メンタルヘルスの相談については、県教育委員会指定医師による相談窓口を開設し、精神科医師との相談もできるようになっています。

特に、新規採用者などの若い教職員は、新しい環境に馴染めず悩むケースが多くあります。そこで今後は、児童生徒のマイサポーター制度のように、教職員の場合には学校の枠を超えることとなりますが、相談したい先輩や同僚教員を自分で選ぶことができるような、より相談しやすい環境づくりを進めることが必要であると考えています。できるだけ早い時期に、この制度を実施できるように検討を進めているところです。

イクメン手帳

質問 手帳の導入は

答弁 市独自のイクメン手帳（父子手帳）については、現在、「パパ・パスポート」という名称で作成を進めており、平成29年4月から保健センターにて配布する予定です。

このパパ・パスポートは、子どもの成長の記録だけでなく、写真を貼ったり、父親として感じたことや子どもへのメッセージ、夫婦で出産や子育てについて話し合ったことなど、父親としての思い出を残せたりする、日記タイプのもを考えています。

パパ・パスポートが、男性の家事・育児参加やワーク・ライフ・バランスの推進につながることを期待しています。

総合防災訓練

質問 新たな訓練項目は

答弁 洞戸小学校をメイン会場として実施された今年度の総合防災訓練では、次の4つの訓練を新たに実施しました。

1つ目は、避難所開設運営訓練で、洞戸小学校体育館において避難所のルール作りや資機材の組立てを行いました。2つ目は、洞戸上菅谷地区で土砂崩れが発生し、集落が孤立したという想定で、土砂撤去作業要請等の情報伝達訓練を実施しました。3つ目は、消防団がドローンを使い、倒壊家屋や火災現場を把握する訓練を実施しました。4つ目は、エコノミークラス症候群の予防対策訓練で、予防のための知識とストレッチ体操を習得していただきました。

今後とも、災害に対してより有効な訓練となるよう内容を見直しながら進めていきたいと考えています。

クールチョイス宣言

質問 概要と取組みは

答弁 クールチョイス（賢い選択）とは、環境省が提案する国民運動で、温室効果ガス削減のため、商品購入時に、省エネ・低炭素製品の選択やクールビズ、ウォームビズの選択など、省エネや環境を意識した選択を行うというものです。

市民の皆さんに向けての取組みとして、エコカー・エコドライブの普及促進のため、平成29年2月に道の駅において、エコカーの試乗会やエコドライブの推進についてのトークショーの開催を予定しています。また、省エネルギー製品の紹介等も考えています。

新年度予算

質問 予算編成方針と重点施策は

答弁 10年間の合併特例期間が終了し普通交付税が縮小したことや、社会保障費が増加傾向にあることから、財政運営は依然として厳しい状況にありますが、各施策を着実に推進することで、わがまちに誇りと愛着を持ち、健康でしあわせを感じることが出来る関市にしたいかなければならないと考えています。今年度に引き続き、「経済・産業」、「歴史・文化」、「自然・地域」、「行財政改革」、「市民協働」の5分野に関する施策に重点を置き、新年度予算の編成に取り組みでいきたいと考えています。

障がい者への支援

質問 公共施設や道路のバリアフリー化の状況と方針は

答弁 市ではバリアフリーのまちづくり及び福祉のまちづくりを推進しており、障がいのある方の社会参加や地域生活への移行を促進するため、公共施設等の新設・改修時には誰もが利用しやすいものになるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点に基づき整備を行っています。

また道路に関しては、現在整備を進めている都市計画道路について、歩道の段差をなくしたフラットタイプを採用するなどバリアフリー化の基準に適合する構造としています。その他の道路についても、改良や補修を行う際は、段差を少なくしたり、側溝等に細目タイプのグレーチング蓋を使用するなど配慮しています。今後も、障がいのある方や高齢者が多く利用される歩道については、関係団体の意見も聞きながらバリアフリー化の基準に適合するよう改修を進めていきます。

児童虐待防止対策

質問 子育て世代孤立化への対策は

【答弁】 市では、転入された家族への子育て関連の情報提供や、近所づきあいが少なくなり孤立化している家族に対する「すくすくランド」への参加促進、また保健師・助産師が家庭を訪問する赤ちゃん訪問事業、さらに、ファミリーサポートセンター事業や子育て支援スタッフ派遣事業など、様々な事業を実施しており、育児負担の軽減を図っています。

さらなる子育て支援の強化のため、平成28年10月の「子育て世代包括支援センター ひだまり」の開設に続き、子育て支援サービスに関する情報提供と相談支援を専門とした「子育てコンシェルジュ」を平成29年4月から1名配置し、支援が必要な方を円滑にサービス利用に結びつける体制を整備していく予定です。

食品ロス対策

質問 教育現場での取り組みは

【答弁】 食品ロス（まだ食べられるのに

廃棄される食品）削減のための取り組みとして、小中学校では、給食委員会が中心となって、食べ残しを減らすよう、声かけ運動を実施しています。また、栄養士による食育に関する授業や小学校低学年を対象とした学校給食センターの見学会を実施し、食べ物の大切さや食べ物に感謝する気持ちを深めることにより、残さず食べることなどの啓発に取り組んでいます。

今後とも、食育を通じて食品ロス削減のための取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。

老人福祉センター

質問 施設活用促進の取り組みは

【答弁】 老人福祉センターの利用については、入浴施設利用の有料化や、市内温泉施設への入浴助成事業の影響等もあり、入浴施設を利用したいという方が、年々少なくなってきたように思われます。しかし、カフェの開催やロコトレ体操の実施などといった新たな事業については好評で利用者が増加してきており、老人

福祉センター全体で、12,000人以上の方の利用がありました。今後は入浴施設利用のPRを行うとともに、老人福祉センター全体をより有効に活用できるように事業計画を立てていきたいと考えています。

中学生海外研修

質問 研修地がシンガポールとなり、大きな変更点は何か

【答弁】 過去3回のアメリカ研修では、夏休みが日本と同じ時期で、同年代の生徒との交流ができないことが課題となっていました。シンガポールでは2日間、現地の中学生と一緒に授業や部活動などの学校生活を送り、その中学校に通う生徒の家庭で2泊3日のホームステイができました。十分な英語力がなくても現地の同世代の中学生に自分の思いを伝えようと必死で頑張り、文化の違いや言葉の壁を超えて友情を育んでいる姿が多くありました。

来年度の研修先等については、今年度と同様にすることを考えています。また

人数についても、一人でも多くの生徒が参加できるよう検討していきます。

「コミュニティ・スクール

質問 今後の方針は

【答弁】 地域の教育力を学校教育に活かす仕組みとして、平成4年度から市独自にはじめた「共生学校づくり委員会」や、平成12年度から導入された「学校評議員制度」があります。市は、保護者や地域の方々に学校運営に積極的に参画していただくことを目的とした「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」に、これらを統合して実施できるように準備を進めています。現在は市内の小中学校4校をコミュニティ・スクールとして指定していますが、来年度には市内28校全ての小中学校を指定する予定です。児童生徒の健全育成と一層地域に開かれた信頼される学校づくりの実現につながっていくことを目指しています。

★ 関市ならではの 新たな商品が誕生!?! ★

昨年(2016)の12月、関商工会議所青年部が主催する「ジュニアビジネスプランコンテスト」が開催されました。高校生を対象に、ビジネスのアイデアを競うコンテストで、今回で3回目となりますが、私は初めて審査員として参加させていただきました。

高校生とは言っても、大人顔負けのアイデアと、何よりもプランを発表する際のプレゼンテーション能力の高さに驚かされ、3時間の長丁場でしたが時間を忘れるくらい楽しい内容でした。コンテストですので、大賞や各賞を決めたのですが、本当に素晴らしいアイデアばかりで、すべてのプランが実現したら面白いだろうな、と素直に思いました。



熱意のこもったプレゼンテーションでした



今年の刃物まつりは記念すべき第50回です

今回、市長賞に輝いたのは、偶然にも我が関商工高校が考案したプラン、『日本刀アイス』でした。その名のとおり、日本刀の姿をしたアイスクリームの開発というとても斬新なアイデアで、高校生の柔軟な発想に改めて感心しました。実は、この『日本刀アイス』のアイデアを実現しようという方々がいらっしゃるとか・・・これが商品化され、関市の新たな名物となれば、まさに刃物のまちならではの日本で唯一のグルメの誕生!?!・・・考えるだけでワクワクします。私、個人的にも大いに期待しています。

今年は、関市の一大イベント「刃物まつり」が50周年を迎えます。記念すべき第50回刃物まつりに向けて、現在、刃物や日本刀に関するさまざまなイベントを計画しています。『日本刀アイス』もお披露目できたらいいですね。市民の皆さん、乞うご期待!!

関の読書推進企画

ほんのいっせき



詳しくはチラシやホームページ
(<http://honnnoisseki.com/>)
(QRコード)をご確認ください。



第1回“関リーディングスポット”認定! 関市で読書ができるお店、場所は どこですか?

私たち読書推進実行委員会は、関を「読書のまち」にしよう取り組みをしています。関が「読書のまち」になるためには、関市のまちに本がよく読める場所がたくさんになればよいと思いませんか?

そこで、私たちは、関市民100人以上にアンケートをして、本が読める場所を募集しました。アンケート結果と私たち読書推進委員会の協議によって、読書ができるスポット「関リーディングスポット」を認定しています。

結果は、2月に読書推進委員会のホームページ、並びに、マップを作成して周知いたします。

☆選定の基準☆

座りごちがよい・明るさが適当・音(かかっている音楽、周囲の騒音)・読書ができる雰囲気(長居ができる)・禁煙、分煙である



人生を変えた1冊

～読書推進実行委員長～ 北村隆幸 さん
『民俗学の旅』 宮本 常一 著

今、私は、まちづくりの仕事をしています。この仕事に関わりだした学生の頃、恩師に「まちづくりをやるなら必読」と紹介されたのが宮本常一でした。日本全国を歩いて、その土地の人々の話を聞き続けた民俗学者。彼の本を読み漁りましたが、特にこの本は自伝で、考え方が書かれています。人の生活深くに根付いたものにこそ、まちづくりの大切さがある。今でもそのことを大事にしています。



平成28年12月16日～1月15日にあった
市内の話題を中心に紹介します。

あんなこと、 こんなこと

関市イメージキャラクター
「関＊はもみん」



元日から元気よくスタート

1月1日、上之保地域では元日恒例のジョギング大会が開催されました。今年は素晴らしい晴天に恵まれ、200人ほどの参加者は上之保生涯学習センターから元気よくスタート。それぞれのペースで、ふるさとの正月風景を楽しみながら、ジョギングを楽しんでいました。



防災の決意新たに

1月9日、関市消防出初め式が開かれ、消防団員をはじめ多くの関係者が参加しました。文化会館では式典のほか、団員や車両の観閲が行われ、防災への備えを改めて確認しました。この後、津保川河川敷に会場を移して恒例の一斉放水も行われ、見物に訪れた市民からは歓声が上がりました。



刃物のまちに新春を告げる

1月2日、関市の伝統行事「古式日本刀鍛錬打ち初め式」が行われました。刀匠たちは、春日神社で今年の安全と盛業を祈願した後、伝承館鍛錬場で伝統の技を披露しました。真っ赤に熱せられた玉鋼を、大つちでたたく姿は迫力があり、今年も多くの見物客を魅了しました。



未来を切り拓け

1月8日、市内各地域で成人式が開かれ、約800人の新成人が参加しました。文化会館で開催された式典では、実行委員会の皆さんが司会を務めるなど活躍し、式を大いに盛り上げました。そして今年のテーマ「一刀両断～未来を切り拓け～」のごとく、自分たちの手で未来を切りひらいていくことを誓いました。



フィリピンの料理を実践

1月15日、関市国際交流協会による「世界の料理交流会」が開催されました。今回取り組んだのはフィリピンの家庭料理。講師に市内在住の岩井マリアさんを迎え、トマトソースを基にした「ミヌード」やスープ「ティノーラ」など3品を作って味わいました。

